|  |  |
| --- | --- |
| 整理番号（研究所が記入） |  |
| 申込日付 |  |
| **（別紙様式13）2024年度名古屋大学宇宙地球環境研究所「若手国際フィールド観測実験」申請書** |
| (1) 研究代表者（2024年4月の情報を記入、博士（後期）課程の欄は該当しないものを消す） |
| 氏名 |  | 職名・学年 |  |
| 所属機関 |  |
| 部局 |  |
| 所在地 |  |
| 博士（後期）課程 | 修了・在籍・検討・予定外 | E-mailアドレス |  |
| (2) 所内受入責任教員 |
| 氏名 |  | E-mailアドレス |  |
| (3) 研究課題名（〇〇〇における〇〇〇の観測、〇〇〇研究所における〇〇〇の実験等） |
| 和文 |  |
| 英文 |  |
| (4) 関連する専門委員会（次の1–6から1つ選んで数字を記入） |  |
| 1: 総合解析、2: 太陽圏宇宙線、3: 電磁気圏、4: 大気陸域海洋、5: 年代測定、6: 航空機利用 |

|  |
| --- |
| (5) 研究体制（宇宙地球環境研究所の受入責任教員を含めてください） |
| 氏名 | 所属機関、国 | 職名 | 役割 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| (6) 滞在先 |
| 観測拠点・機関名 |  |
| 国・地域 |  |
| (7) 滞在先の受け入れ研究者又は連絡担当者 |
| 氏名 |  | 職名 |  |
| 所属機関 |  |
| E-mailアドレス |  |

以下、フォントサイズは10〜11pt、各項目の行数は変更可能。ただし、(8)～(9)で１頁以内に収めること。

|  |
| --- |
| (8) 履歴 |
| 当経費による過去の支援の有無（該当しない方を消す） | 　　有　・　無　　 |
| 支援を受けた年月日（有の場合） | 　　年　　月　　日 |
| 支援金額（有の場合） | 　　円 |
| (9) 詳細説明 |
| 研究目的（学術的背景、目的、予想される結果と意義、関連する国際研究プログラム （SCOSTEP/PRESTO、ISWI、Future Earth、WCRPなど）との関係を簡潔に記述してください。） |
|  |
| 研究計画（研究目的を達成するための研究計画・方法、本研究所の教員も含めた参加者の役割分担について簡潔に記述してください。） |
|  |
| 宇宙地球環境研究所の共同利用・共同研究との関連 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| (10) 所要経費　【例】　301千円 | 　　千円 |
| 経費使用詳細（具体的な旅行先・日程を明らかにすること。また、交通費、滞在費など、申請経費の妥当性も記入し、往復航空券の見積を添付すること。）＊＊＊注意＊＊＊・日当は名古屋大学の規定に従い、A地方：4,800円、B地方：3,400円とする。・宿泊費は原則、実費支給とする。ただし1日あたりの宿泊料の支給上限は、名古屋大学の規定に従い、A地方:14,700円、B地方：10,200円とする。※A地方:北米・欧州・中近東、指定都市（シンガポール、モスクワ、アビジャン） / B地方（A地方以外の国・地域及び都市）・外国における国内移動（市内）は支給しない。市外の空港から市内への移動等、市をまたぐ公共交通機関による移動は、領収書に基づき実費支給が可能。・保険料は領収書と保険証書に基づき実費支給が可能。・検疫のための費用は、領収書に基づき実費支給が可能。 | 【例】（削除して入力してください。）・出張先:【メルボルン（オーストラリア）】・出張日時:【令和4年9月6日～9月20日 (16日間)】・必要経費:・航空券（往復）:【JPY 106,840】・日当 (16日): 【JPY 54,400 (JPY 3,400/day)】・宿泊費 (13日): 【JPY 132,600　(JPY10,200/day/max)】・名古屋市内⇔中部国際空港の鉄道代:JPY1,780（往復）・保険: 【JPY5,000】合計: JPY 300,620 |
| 他経費との関連（他経費で交通費や滞在費を支給する場合、切り分けを明確に書く） |
|  |
| (11) 本申請の承認（研究代表者が学生の場合） |
| 本課題開始時に在籍する大学院の指導教員の氏名・所属・E-mailアドレス |
|  |
| 承認所見（大学院の指導教員にお願いしてください） |
|  |